令和8年度　学力向上を図るための全体計画

東三鷹学園三鷹市立北野小学校

関係法規・市教委教育目標

○ 自分を愛し、他人を愛し、三鷹を愛する人
○ 自ら学び続ける人
○ 自ら責任ある行動がとれる人
○ 豊かなコミュニケーションがとれる人
○積極的に社会や地域に貢献できる人

学校教育目標

持続可能な社会の創り手として、多様な人と関わりながら国際社会をたくましく生きる子どもを育てることを目指す。
○考える子ども　○健康な子ども
○思いやりのある子ども

児童の実態、期待される児童像

児童は、基礎的な学力が定着し、自ら課題に取り組んだり、友達との関わり会いを通して考えを深めたりする力が育っている。
今後も、多様な考えを認め合い、目標に向かって粘り強く取り組み、地域や社会に主体的に関わる児童の姿を目指す。

学力向上に関わる学校経営方針

「なりたい自分の実現に向けて、『最後までやり抜く北野の子』を育てる北野小学校」
〈自分のめあてに向かって粘り強くできるまで行う子〉
◎個別最適な学びと協働的な学びの一体化
◎基礎的・基本的な学力の定着

教科指導の重点

・各教科等において主体的・対話的で協働的な学びの実現を目指した授業を展開する。
・児童の発達段階に応じて、自主学習への取組を系統的に指導する。
・文章を書く活動を日常化することを通して、自分の思いを表現することができる力を育成する。
・学習用タブレット端末をを活用した言語活動、探究的な学習活動を設定することで、学びの習慣化や学習内容の習熟・定着を図る。
・学力に関する各種調査結果から、学校の課題を明確にし、東京ベーシック・ドリルの活用や個に応じた指導を行う。
・複数の情報を整理して関連付け、根拠を基に自分の考えをまとめる力を全教科で育成する。表・図・メモ化などを活用した情報の構造化や、理由を示して説明する学習を充実させ、思考を深めて表現する力の向上を図る。

本校が目指す「確かな学力」

○子どもの特性や学習状況に合った学習方法や学習内容の工夫
・ねらいの提示、学習の見通しをもつ
・自分の考えをもち、対話的・協働的な学びをとおして学びを広げ深める学習過程
・タブレット端末の効果的な活用
・自己成長力の育成
・振り返りを行い、主体的に学ぶ意欲の育成
○家庭学習の充実
・目的や内容について、保護者に周知
・宿題に加えて児童が自ら計画を立てて自主学習を実施

道徳教育の指導の重点

・一人ひとりの児童がより良い生き方を考えることができる「考え、議論する道徳」の授業を推進する。
・道徳授業地区公開講座を実施し、「特別の教科道徳」の趣旨や授業の在り方、児童の実態について発信・協議して、家庭・地域の教育力の向上を目指す。
・いじめ防止対策と関連した資料を活用し、いじめ防止の授業を通して、思いやりの心を育て、いじめをしない、許さない心情を醸成する。また、特定の職業、感染症患者やその家族に対する差別や偏見を許さない心情を育てる。

総合的な学習の時間で身に付ける「学力」の重点

・探究的な学習のプロセスを確立することで、児童自らが気付き、考え、探究していく力や協働的に学習を進める力、主体的な判断の下に行動する力を育成する。
・教科等横断的な指導計画を作成し、児童が汎用的な学習方略を身に付けられるよう指導する。
・学園版地域学習カリキュラム及び外部と連携、折衝年間予定一覧表を活用し、学園内の人財、自然や文化を取り入れた学習、ねらいを明確にした体験学習などを取り入れ、自己の生き方を積極的に考える力を育成する。

学力向上のための基本方針

○基礎的・基本的な学力の定着
・学習規律の徹底
・東京ベーシックドリル、AIドリル等の活用
・みたか地域未来塾（わくわくスタディ）などの補充学習の充実
○各教科等の内容相互の関連を図りながら、単元の配列を組み直したり、指導計画を立てたりすることで、習得した知識及び技能を他の学習や生活に生かそうとする態度を育成する。

特別活動の指導の重点

・学級活動において計画、実施、振り返りの一連の活動を繰り返し経験させるとともに、委員長会議を通した児童発信の取組の充実を図る。
・ボランティア活動や清掃活動、たてわり班活動を中心とした異学年活動を推進し、勤労の尊さや社会奉仕の精神を涵養する。
・各行事の目的、目標、系統性を踏まえて計画、実施、評価、改善し、よりよい学校生活を築くための体験活動を通して、公共の精神を養う。
・クラブ活動を通して、異学年の児童同士が協力する自主的、、実践的な態度を育成する。
・体育朝会、音楽朝会、児童集会の内容を計画的、組織的に進め、体力の向上や豊かな情操の涵養、自己実現を図ろうとする態度を育てる。

進路指導の重点

・キャリア教育を通した人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成を図る。
・学級活動や総合的な学習の時間におけるキャリア・アントレプレナーシップ教育の推進により自己の将来について深く考え、多角的な発想や工夫を促す。

生活指導の重点

・あいさつ、丁寧な言葉遣いを徹底する。
・Q-Uアンケートの実施、学級経営に生かすために各学級で取組を交流する。
・全教職員で、児童の規範意識をはぐくみ、きまりを守って生活できる力を育成する。
・問題行動やいじめ、不登校につながる児童のサインについて年3回のアンケートやその結果による聞き取りを実施し、児童が安心して学校生活を送れるようにする。
・第5学年において、SOSの出し方に関する教育を推進する。
・安全指導や地域にも見守り活動等において、家庭や地域、関係諸機関と連携を図る。
・情報機器を安全に利用できる力を育成する。
・長期欠席や不登校児童の社会的自立を促し、校内支援教室の利用や適応支援教室A—ROOMなどの関係機関と連携した対応を行う。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
・単元全体や1単位時間の学習の見通しをもたせる工夫 ・児童のつまずきに応じた指導計画や指導方法の改善 ・4～6年生の教科担任制による指導内容・方法の充実 ・児童の発達の段階に応じた「やりぬく力」や「学習方法を工夫しながら粘り強く取り組む力」の指導 ・話し方、聞き方のルールの徹底と学習環境の整備 ・ねらいの焦点化、明確化と振り返りの共通指導	・「三鷹市小・中一貫カリキュラム」に沿って作成した「東三鷹学園版カリキュラム」に基づいた指導と評価 ・学習用タブレット端末を活用した学習指導 ・5、6年生によるJMコンテストの実施 ・外国語活動におけるALTを効果的に活用した授業展開の工夫	・研究テーマ「分かる！できる！を実感し、自ら学びに向かう児童・生徒の育成」に沿った研究授業・協議会の実施 ・短時間でも必要感のあるOJT「まめ研」「自主研」の計画と実施 ・自主学習を取り入れた家庭学習の推進 ・基礎基本の定着のためにAIドリルの活用 ・夏休み明けのJMコンテストと表彰 ・隔週で取り組む自己成長力の目標設定とふり返り ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す研究 研究テーマ「分かる！できる！を実感し、自ら学びに向かう児童・生徒の育成」	・信頼性・妥当性の高い学習評価を実施するための教員の校内研修 ・単元ごとの評価を基にした授業改善 ・保護者アンケート、学園・学校評価、児童による授業アンケートの結果を受けた授業改善	・個に応じた家庭学習の進め方を指導 ・学年の発達の段階に応じた「自主学習」ができる取組 ・全校で「自主学習コンクール」を設定 ・CSと連携し、学園全体を通して情報を共有することによる、サポート隊の人財の確保 ・みたか地域未来塾との連携による基礎基本の定着